

令和5年度事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

◇海王丸パーク◇（面積：約10.0ha）



◇富山新港臨海野鳥園◇（面積：約4.6ha）



◇富山県新湊マリーナ・新湊マリーナ緑地◇（面積：約16.5ha）



令和5年度の海王丸パークの入込数は84.1万人、前年比1.26万人の減（△1.47%）となった。令和6年1月1日に発生した能登半島地震の影響によるもので、当財団が指定管理する施設にも液状化や地盤の隆起・沈下等の被害が発生した。応急措置により閉園期間を最小限にとどめ（1/14再開）、現在は一部制限エリアを除き通常どおりの運営に戻っている。今後は、県や市、関係機関と協力し、地震前の状態に戻すための本格的な復旧に向け取り組んでまいりたい。

帆船海王丸の総帆展帆は、荒天や夏の異常な暑さなど天候に恵まれず、予定していた10回のうち6回が中止となった。海洋教室は予定していた21団体を受け入れ、うち宿泊は6団体（昨年度は1団体）を受け入れた。

春・夏・秋の大型自主イベントを予定どおり開催するとともに、民間団体等による音楽・フードフェス、マルシェ、釣りイベント等、多彩なイベントが海王丸パークを会場として催された。

新湊マリーナでは、専門業務（クレーンによる船の上下架等）の受託と給油販売等の運営を担ってきた事業者が3月末をもって撤退した。このため、令和6年度からは財団がこれらの業務を直接運営することになった。利用者のことを第一に、円滑な運営に努めるとともに、更なるサービスの向上を図っていく。

I 海王丸パークの管理運営

1 パーク内のプランターの植栽、芝生管理、清掃等

(1) 植物管理

- ・芝管理（約1.9ha）
- ・樹木管理（プランター植栽、剪定、害虫駆除、雪囲い等）

(2) 施設管理

- ・清掃（園内、パーゴラ展望室、トイレ、石床面）
- ・自家用電気工作物保安管理、遊具点検・補修
- ・「展望広場」の供用（H30.4月～）

利用サービス向上の観点から大雪・風雪注意報発令時や12m以上の風が続く場合に限り閉鎖し、開放の機会を増やした（R4.11月～）。

※ R4.11月までは、上記条件に加え、雷・強風・大雨注意報発令時も閉鎖

- ・案内看板の増設

※ 来園者にパーゴラ展望室、野鳥園への誘導を促すため、案内看板を新たに設置。



（パーゴラ展望室への誘導看板）



（野鳥園への誘導看板）

- ・海王丸パーク周辺を「徒歩で散策」する案内マップを新たに作成し、R5.6月から財団HPに公開するとともに、日本海交流センター（事務室窓口）及び海王丸乗船窓口に配架した。案内マップは、新湊大橋の「あいの風プロムナード」を往復するショートコース（約3km・約1時間）と、内川周辺を巡り、帰りは万葉線で戻ってくるロングコース（約4km・約1.5時間）の2種類。



(案内マップ)

2 日本海交流センターの管理運営

(1) 展示ホールでのパネル展示等

- ① これまでの「世界の帆船模型展」に加え、令和4年度から新たに「海王丸関係資料等の展示」、「展示用パネル」を常設し、常設展示物の充実を図っている。



(海王丸関係資料等の展示)



(展示用パネルの常設)

- ② 「世界で最も美しい湾クラブ」加盟の紹介
- ③ 「きららか射水」の紹介
- ④ 環日本海地域へのゲートウェイ・日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港
- ⑤ 「わたしたちと海」

(2) 施設の利用促進

研修室の会議等への利用、談話室の賃貸

(3) 館内の清掃、機械警備等

3 帆船海王丸保存事業

帆船海王丸を「海に浮かぶ生きた帆船」の姿で保存し、美観を守るため、船体の諸法定検査の受検と定期的な保守点検作業及び整備保存工事を行うとともに、乗船者の安全確保に努めた。

(1) 法定検査等

- ① 船舶安全法にかかる検査 定期検査（5年毎） 令和5年4月26日
- ② 消防設備保守点検 令和5年9月12日、令和6年3月6日
- ③ 帆船海王丸の老朽箇所調査

受託業者のジャパンマリンユナイテッド(株)が、令和5年6月～12月にかけて現地調査を実施した。

(2) 日常の保守点検整備

- ① 公開区域の保守整備（清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き等）

- ② マスト・ヤード・セイル等帆装艤装設備の保守、点検、補修及びセイルの製作
- ③ 船体各部の発錆部の補修等
- ④ カッター(6艇)の保守管理
- (3) 船体整備等
 - ① 船体及び展示マスト・ヤードの塗装
 - ② セイルの取付け及び取外し
 - ③ 帆装艤装整備
 - ④ 電灯改修
 - ⑤ 非常用発電機整備
- (4) 災害防止

船内防災センターにおける24時間集中監視の実施

4 帆船海王丸公開事業

帆船海王丸船内を一般公開した。

また、海王丸カレンダーの印刷配布、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムなどによる各種情報の発信を行い、帆船海王丸のPRに努めた。

有料乗船者のうち、希望者に対してはロケットカードを配布した。

(1) 一般公開

強風のため令和6年3月20日(午後)、降雪や積雪のため12月22～24日及び令和6年1月25～26日、能登半島地震による施設被害の安全確認のため令和6年1月4～12日は、公開を休止した。

これら以外の期間については、定休日、船体整備期間(4月8日～10日、11月9日、11月11日～12月1日、2月15日～3月8日)を除き、一般公開を実施した。

① 公開時間

区分	期 間	時 間
ア	4月1日～7月14日 9月1日～10月31日 3月9日～3月31日	9時30分～17時
イ	7月15日～8月31日	9時30分～18時
ウ	11月1日～2月14日	9時30分～16時00分

② 乗船料の減免

ア 無料

- ・海王丸進水記念日 2月14日
- ・総帆展帆日の小学生、学校行事で乗船する小学生と引率者 など

イ 半額

- ・パワーバレンタインウィーク期間中のペア

③ 乗船者数 56,297 人 一般公開以来の延べ乗船者数 2,278,387 人

年度	乗船者数
令和元年度	69,050 人
令和2年度	27,996 人
令和3年度	31,940 人
令和4年度	56,307 人
令和5年度	56,297 人

(2) 総帆展帆とボランティアの育成

① 総帆展帆の実施

10 回予定のところ 4 回実施（荒天や夏の酷暑の影響により 6 回中止）。

新規ボランティアが増えて参加者数も増えたが（R④62.5 人/回→R⑤81.0 人/回）、
荒天や夏の酷暑のため安全面を重視し 11～22 枚
の展帆に抑えて実施した。年度最後の 11 月 3 日に
約 1 年（362 日）ぶりとなるフルセイル（全 29 枚
を展帆）を達成した。



（総帆展帆）

② ボランティアの育成

年度始めに新聞紙上等でボランティア不足が大きく取り上げられたこともあり、
新規ボランティア数は 59 人（R④42 人）と、過去 2 番目に多い新規登録があった。

ア ボランティア登録者数（令和 6 年 3 月末現在）

区 分	人 数		
登録者数	男 505 人	女 309 人	計 814 人

イ 「ボランティアの集い」

日時：令和 5 年 12 月 9 日 11 時～12 時

場所：クロスベイ新湊（2 階 iCN ホール）

参加人数：75 人（来賓を含む）



（ボランティアの集い）

(3) 帆船海王丸の縦帆ミニ展帆、満船飾

縦帆ミニ展帆：イベント開催日等に縦帆 4 枚を展帆。10 回実施

4 月 7 日、4 月 29 日、5 月 5 日、6 月 25 日、7 月 16 日、7 月 30 日、
8 月 11 日、9 月 3 日、10 月 9 日、10 月 22 日

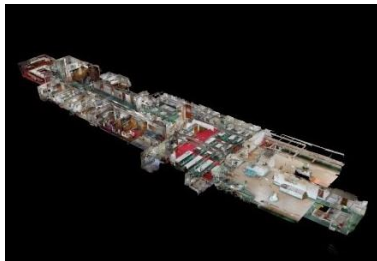
満船飾：記念日に国際信号旗を掲揚。4 回実施

5 月 5 日、7 月 17 日、8 月 11 日、令和 6 年 2 月 14 日

※11 月 5 日は強風のため中止

(4) ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等

- ・帆船海王丸に関する情報、海王丸パークで開催される各種イベント情報等を掲載。
- ・平成30年12月から、海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像を公開。
- ・令和2年4月から、スマートフォン、タブレット等に対応しリニューアルした。



(海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像)



(スマートフォン、タブレット等に対応)

(5) 夜間イルミネーション、ライトアップ

イルミネーション： 毎日（船体整備期間を除く）、日没時から22時まで実施

ライトアップ： 毎日、日没時から22時まで実施。

なお、世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間（4/2～8）はブルー、
世界小児がん啓発月間（9/1・2）はゴールド、
手話言語の国際デー（9/23）はブルー、
パワーバレンタインウィーク（2/8～14）はピンク、
国際女性デー（3/1～10）はオレンジ色への
ライトアップ変更を行った。



(ピンクにライトアップされた海王丸)

5 錬成等事業

帆船海王丸を活用し、規律正しい団体生活を通じて、児童、生徒、青少年の公德心、
友愛、協調性及び責任感を体験習得させ、海と港と船に関する理解と知識を広めるため、
海洋教室を開催した。

(1) 青少年錬成事業

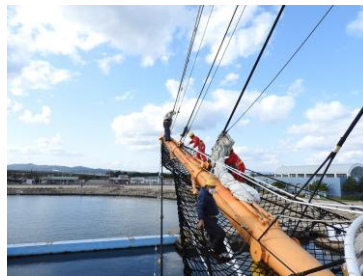
- ・海洋教室の開催

コース別	開催期間	参加団体数	参加者数	主な内容
宿泊コース	5～10月	6団体	206人 (うち引率 36人)	船内見学、結索実習 甲板清掃、操帆実習

日帰りコース	5～9月	15団体	632人 (うち引率 71人)	マスト登り、カッター訓練
計			838人 (うち引率107人)	



(手旗信号訓練)



(マスト登り)

(2) 「帆船海王丸絵画コンクール 2023」の実施

小学生（射水市内及び県東部の小学生）を対象に絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰するとともに、日本海交流センターに展示。

コンクールを通じて、児童の海・港・船に関する理解と知識が深まるよう努めた。

- ・応募数 223 作品
- ・入賞作品展示 9月16日～10月22日、日本海交流センターホールで展示
- ・表彰式 10月22日、日本海交流センター第1・2研修室



(下学年の部最優秀作品)



(上学年の部最優秀作品)

6 海事広報活動の普及・推進

滑川高等学校生の受入れ（海王丸を活用した海事教育）

- ・2年 12月13日 12人、引率2人
- ・3年 12月14日 12人、引率2人

7 イベントの実施（財団主催行事）

(1) 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式（4月14日）

- ・鯉のぼりの掲揚（4月14日～5月5日）
- ・花の迷路の設置（4月14日～11月15日）

(2) ちびっ子天国 in 海王丸パーク（5月6日～7日）

- ・海王丸パーク内にふわふわ遊具、エンタメショー、児童クラブ連合会の協力による親子工作教室、フリーマーケット、カーボンニュートラルクイズ、クラシックカー・はたらく車の展示等を実施。
- 来場者約5千人。



（ふわふわ遊具）

(3) 海王丸パークフェスティバル（7月16日～17日）

- ・海の日を記念して、親子展帆体験や海王丸船長との記念撮影、ちびっこランド等を実施。
- 来場者約5千人。



（親子展帆体験）

(6) 秋のファミリーフェスティバル（9月17日～18日）

- ・海王丸パーク内にふわふわ遊具、エンタメショー、小型船「なご」による海王丸一周クルーズ、県児童クラブ連合会による親子工作教室等を実施。
- 来場者約4.5千人。



（小舟クルーズ）

(7) パワーバレンタインウィーク in 海王丸パーク（2月8日～14日）

2月14日が「進水記念日」とバレンタインデーであることを記念して開催

- ・進水記念日は乗船料無料、期間中のペアの乗船料半額
- ・WEBメッセージ（応募者先着50名に海王丸の帆を再利用した「しあわせの星」キーホルダーをプレゼント）
- ・特製チョコプレゼント（2月11日・12日・14日）
- ・満船飾、特別公開見学会（海王丸の非公開区域）



（満船飾）

(8) 「恋人の聖地」関連事業の実施

海王丸パークのシンボル「帆船海王丸」がH25.1月に「恋人の聖地」に選定され、同10月に「恋人の聖地記念モニュメント」を設置。

H30.7月に「帆船海王丸」が「ふね遺産」に認定されたことを記念し「海王丸幸せのパワースポットシリーズ」として、「幸せのペア帽子」及び「幸せの愛カギ」の販売、「幸せのフォトフェイス（顔出しパネル）」の設置を展開。

R5.9月からは新たに、希望の時刻に合わせて、事前に預かったメッセージを海王丸の船内放送で読み上げる「幸せのベル・サプライズメッセージ」をシリーズに加えた。

また、コロナ禍によりR3・4に受付を中止していた海王丸の「船上結婚式」をR5.11月に再開した。

(9) 2024 年海王丸カレンダー作成

総帆展帆予定日を記載したA 2 判カレンダーを 1,200 部作成し、県内小中学校・旅行者等に配布した。

◎海王丸パークの年間入込数 841,000 人

年 度	年間入込数
令和元年度	1,201,500 人
令和2年度	563,500 人
令和3年度	577,000 人
令和4年度	853,600 人
令和5年度	841,000 人

II 臨海野鳥園（海王バードパーク）の管理運営

1 野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

休園日を除く土・日曜日、祝日は、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。来園者に野鳥に関する知識を深めてもらうため、観察センター内に野鳥図鑑や関係資料を備えておくとともに、野鳥愛好家が撮影した貴重な写真などを展示。

また、ホームページ、フェイスブック等を活用し、季節によって観察できる野鳥が異なることなどもPRした。

2 探鳥会（4回）の開催

渡り鳥の飛来時期などに合わせて、野鳥に関する知識の豊富な講師を招いて探鳥会を年4回実施。うち1回は、野鳥講演会を併せて開催

(1) 探鳥会

回	開催期日
1	4月9日
2	11月12日
3	12月17日
4	(※) 2月18日
5	3月17日

(※) 園内水道管破裂対応のため中止



(探鳥会)

(2) 野鳥講演会

3月17日 探鳥会と同日に実施

講師：松木 鴻諮 氏（富山県鳥類生態研究会 代表）

演題：「富山県に生息する面白い野鳥たち」



(3) 年間入込数 2,120 人 (R④ 2,600 人)

来園者が減少傾向にあることから、海王丸パークから野鳥園に誘導する「案内板」を新たに設置した。

(4) 野鳥観察指導員登録者数 30 人

Ⅲ 新湊マリーナの管理運営

設備・機械の保守・安全点検や構内見回りにより、マリーナの安全な利用環境の確保に努めた。

1 マリーナ施設及び同緑地の管理運営

- ・50 t テルハ式クレーン保守点検（1 回／年）
- ・20 t 自走式クレーン保守点検（1 回／年）
- ・ジブクレーン保守点検（日常点検）
- ・浮栈橋保守点検（1 回／年）
- ・消防設備保守点検（2 回／年）
- ・自家用電気工作物保安管理（1 回／月等）
- ・新湊マリーナ夜間巡回警備（繁忙期：2 回／日、閑散期：1 回／日）
- ・監視カメラ・ライブカメラによる監視
- ・構内見回り（緑地管理・保管艇管理）、機器の安全点検（1 回以上／日）

- ・保管艇増に伴う上記作業量増に対応した人員体制及び有資格者の確保
- ・令和6年度からの新たな業務（クレーンによる船舶の上下架、給油販売業務）開始にあたり、必要人員の募集（6 名）、体制強化（マリーナ課の設置）、給油販売開始手続き等の検討・準備を行った。

2 マリーナ保管・利用状況（令和6年3月末現在 登録数 341 艇）

(1) 登録数（艇）

区 分	陸置艇	競技用小型ヨット	栈橋係留艇	合計
3 月末現在（A）	116 艇	83 艇	142 艇	341 艇
保管可能数（B）	207 艇	100 艇	146 艇	453 艇
収容率（A／B）	56%	83%	97%	75%

(2) 保管艇内訳（令和6年3月末現在の保管艇内訳）

区 分	大型ヨット	競技用小型ヨット	モーターボート	合計
保管艇	39 艇	83 艇	219 艇	341 艇
割 合	11%	24%	64%	100%

3 利用促進等事業

(1) 営業時間の延長（平成 29 年度から）

4 月 1 日から 9 月 30 日までの土日祝については、営業時間を午前 8 時 30 分から終了時間を 30 分延長し午後 5 時 30 分までとした。

(2) 高圧洗浄機のレンタル（平成 21 年度から）

利用者へのサービス向上のため実施

(3) 修理ヤード利用料金の無料化（平成 22 年度から）

利用（契約）者に対するサービスとして、修理ヤードの利用料金（日額 2,100 円）を無料としている。

(4) ホームページ及びフェイスブック（平成 27 年度から）による情報提供

毎日の風向風速・釣果情報・イベント案内・スタッフのブログ等、情報発信に努めている。平成 28 年度からはライブカメラを設置し、ホームページで公開している。

(5) 国際 VHF 無線の基地局設置（平成 24 年度から）

利用者アンケートからの要望により国際 VHF 無線を設置した。これにより、海上にいる利用者へ気象情報や安全情報を提供している。

(6) 早朝開門の実施（令和 3 年度から）

4 月 1 日から 11 月 30 日までの土日祝については正門を午前 5 時に開門し、利用者の利便を図った。

(7) 修理ヤードの増設

手狭となっていた修理ヤードを陸上保管ヤードの一角（空きスペース）に新設した。

(8) ガイドブックの作成

令和 4 年度に施設の利用マナーを分かりやすく解説したガイドブックを作成し、令和 5 年度契約者に配付した。

(9) その他

- ・製氷機の設置



製氷機の設置



(ガイドブック)

5 マリーナ職員による安全対策

(1) 構内見回り点検（1 回以上／日）

(2) 上下架装置の安全点検（1 回／日）

(3) 海上安全指導

(4) 荒天時警戒（保管艇）

(5) 栈橋貝落とし作業（1 回／年）

(6) 緑地公園草刈作業（2 回／年）

(7) 強風時増しもやい作業

(8) 施設内洗浄作業



(職員による点検)



(海上安全指導)

6 企画・自主事業

(1) 販売艇展示事業

販売艇(10 艇)を展示し、保管艇の増及び
マリーナの振興と活性化を図った。



(販売艇の展示)

(2) レンタルボート事業

4月1日から12月28日までの間、気軽に富山湾を体験できるレンタルボート事業を実施(平成29年度から実施。)

利用実績 203 件

	R⑤	R④
県外	117 件	138 件
県内	86 件	80 件
合計	203 件	218 件

新艇 “どん艦”の富山湾を気軽に楽しむ

入会金 年会費 不要!

☆ 富山県新湊マリーナ レンタルボートの概要 ☆

快速艇多数の新艇を使ってマイボート、マリッジライフを気軽に楽しむ体験！
船酔いの不安(乗前・乗中)やシャワー室にも対応いたします。

期 間：4月1日～12月28日(日曜・定休日)
時 間：8:30～16:00
※ 船酔い対策のため、出発前に安全講習を開催して頂きます。(30分程度)

ご予約方法 ホームページからお申し込みを!!
『富山県新湊マリーナ』で検索

※ ご予約は、富山県新湊マリーナホームページよりお申し込みください。
※ ご予約は、ご予約日より1ヶ月前よりお申し込みください。詳しくはHPをご覧ください。
※ ご利用当日、船酔い対策に備えて頂きます。

【2人用艇(ヒルビィ 8P・2人用 定員6名)】
料 金：平日 13,000円/日
土日祝 16,000円/日
(税込、燃料代は別途負担して頂きます)

【17人用艇(スズキ 9-17 定員6名)】
料 金：平日 10,000円/日
土日祝 12,000円/日
(税込、燃料代は別途負担して頂きます)

【お問合せ先】(休館・休業日)

富山県新湊マリーナ
〒933-0222
富山県新湊市新湊2-2-2
TEL 076-826-4440

無料レンタル品
●釣り竿4セット
●ライフジャケット(4名用)
●ライフリングマット(2枚)
●サンデッキ
●クーラーボックス

新湊マリーナ
NAMIHATA MARINA



(レンタルボート)

7 その他

・マリンチック街道の認定

平成31年3月から、国土交通省により、プレジャーボート等によるクルージングに、海の駅等に寄港・上陸して近郊の観光地やグルメスポット等を巡るという要素を加えたモデルルートを認定するマリンチック街道として、新湊マリーナを起点・終点とする「富山湾」が認定されている。

IV 県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県営渡船の堀岡発着場における陸上作業員として、乗下船する旅客及び車両の誘導その他県営渡船の運航に係る補助業務を行った。